



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月1日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 丸栄
コード番号 8245 URL <http://www.maruei.ne.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 京極 修二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 渡邊 克哉

TEL 052-264-1211

四半期報告書提出予定日 平成26年7月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	5,888	△4.4	49	△52.6	7	△93.0	△11	—
26年2月期第1四半期	6,159	△3.1	104	54.7	102	520.4	60	—

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 △10百万円 (—%) 26年2月期第1四半期 64百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
27年2月期第1四半期	△0.09		—	
26年2月期第1四半期	0.47		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
27年2月期第1四半期	45,760		20,383		44.5	
26年2月期	45,814		20,394		44.5	

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 20,383百万円 26年2月期 20,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 2月期の連結業績予想(平成26年 3月 1日～平成27年 2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	△1.8	140	△24.7	50	△64.5	10	—	0.08
通期	24,300	△1.6	310	△42.0	140	△62.8	50	△76.1	0.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	130,368,887 株	26年2月期	130,368,887 株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	514,316 株	26年2月期	512,951 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	129,854,881 株	26年2月期1Q	129,881,080 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績の改善が進み景気は緩やかな回復基調となりましたが、個人消費につきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、慎重な購買姿勢が続いております。

このような環境の中、当社グループの主たる事業分野であります百貨店業界におきましては、3月は、高額品を中心に駆け込み需要の影響で好調に推移しましたが、増税後はその反動により不安定な推移となりました。

こうした状況下、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、58億8千8百万円（前年同期比95.6%）となり、営業利益は4千9百万円（前年同期比47.4%）、経常利益は7百万円（前年同期比7.0%）となりました。また、固定資産除却損等1千5百万円を特別損失として計上いたしました結果、当第1四半期連結累計期間の四半期純損失は1千1百万円（前年同期は6千万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[百貨店業]

百貨店業におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要に対応するべく、高額商品を中心に新規企画、イベント等を開催してまいりました。また、その後の反動に向けて、新規物産展の開催や販促イベントを積極的に展開するなど集客力の向上に取り組んでまいりましたが、ヤング・ニューキャリアゾーンを中心とした主力の衣料品の不振と、駆け込み需要の反動の影響により、百貨店業の売上高は52億4千5百万円（前年同期比95.8%）となりました。利益面につきましても、営業利益1千1百万円（前年同期比24.1%）という結果となりました。

[不動産賃貸業]

不動産賃貸業におきましては、空室率の改善に取り組みましたが、売上高は4億1千9百万円（前年同期比97.7%）、営業利益は1億3千3百万円（前年同期比87.5%）となりました。

[その他]

その他の事業におきましては、運送業、清掃業及び百貨店店舗内において友の会事業を運営しており、売上高は2億2千3百万円（前年同期比88.8%）、営業損失は1千3百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5千3百万円減少し、457億6千万円となりました。これは流動資産が9千6百万円増加し、固定資産が1億4千8百万円減少したことなどによります。流動資産の増加については、現金及び預金が3千7百万円増加したことなどにより、固定資産の減少については、減価償却等により建物及び構築物が1億2千6百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ4千3百万円減少し、253億7千6百万円となりました。これは流動負債が2億4千2百万円減少し、固定負債が1億9千9百万円増加したことによります。流動負債の減少については、短期借入金が5億円減少し1年内返済予定の長期借入金が2億7千4百万円増加したことなどによります。固定負債の増加については、長期借入金が2億3千1百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1千万円減少し、203億8千3百万円となりました。これは、四半期純損失1千1百万円により利益剰余金が同額減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、平成26年4月10日に公表いたしました「平成26年2月期決算短信」より変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,233	1,270
受取手形及び売掛金	432	422
商品	398	394
その他	602	676
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	2,660	2,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,244	8,117
土地	30,433	30,433
その他(純額)	276	277
有形固定資産合計	38,954	38,828
無形固定資産		
のれん	1,258	1,238
その他	82	78
無形固定資産合計	1,340	1,316
投資その他の資産		
投資有価証券	2,486	2,494
その他	356	349
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,842	2,843
固定資産合計	43,138	42,989
繰延資産	15	13
資産合計	45,814	45,760
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,600	1,755
短期借入金	1,800	1,300
1年内返済予定の長期借入金	3,516	3,791
1年内償還予定の社債	340	260
未使用商品券等引当金	281	276
その他の引当金	43	56
その他	2,534	2,432
流動負債合計	10,116	9,873
固定負債		
社債	375	360
長期借入金	7,542	7,774
再評価に係る繰延税金負債	3,998	3,998
退職給付引当金	327	335
その他	3,059	3,034
固定負債合計	15,304	15,503
負債合計	25,420	25,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,937	9,937
資本剰余金	2,290	2,290

利益剰余金	936	925
自己株式	△113	△113
株主資本合計	13,051	13,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	15
土地再評価差額金	7,328	7,328
その他の包括利益累計額合計	7,343	7,343
純資産合計	20,394	20,383
負債純資産合計	45,814	45,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	6,159	5,888
売上原価	4,887	4,658
売上総利益	1,271	1,230
販売費及び一般管理費	1,167	1,181
営業利益	104	49
営業外収益		
受取利息	1	0
持分法による投資利益	14	13
売場改装協力金	64	23
その他	5	5
営業外収益合計	86	43
営業外費用		
支払利息	61	53
その他	26	32
営業外費用合計	87	85
経常利益	102	7
特別損失		
固定資産除却損	39	14
その他	-	1
特別損失合計	39	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	62	△8
法人税等	2	2
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	60	△11
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60	△11

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	60	△11
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	4	0
四半期包括利益	64	△10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64	△10
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,477	429	5,906	252	6,159	—	6,159
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	39	40	237	278	△278	—
計	5,478	468	5,947	489	6,437	△278	6,159
セグメント利益又は損失(△)	46	152	199	△3	196	△92	104

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△92百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△92百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,245	419	5,664	223	5,888	—	5,888
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	35	38	156	195	△195	—
計	5,248	455	5,703	380	6,084	△195	5,888
セグメント利益又は損失(△)	11	133	144	△13	131	△82	49

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△82百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△83百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。